



はじめに

Digital Advisor

NetApp
February 19, 2026

目次

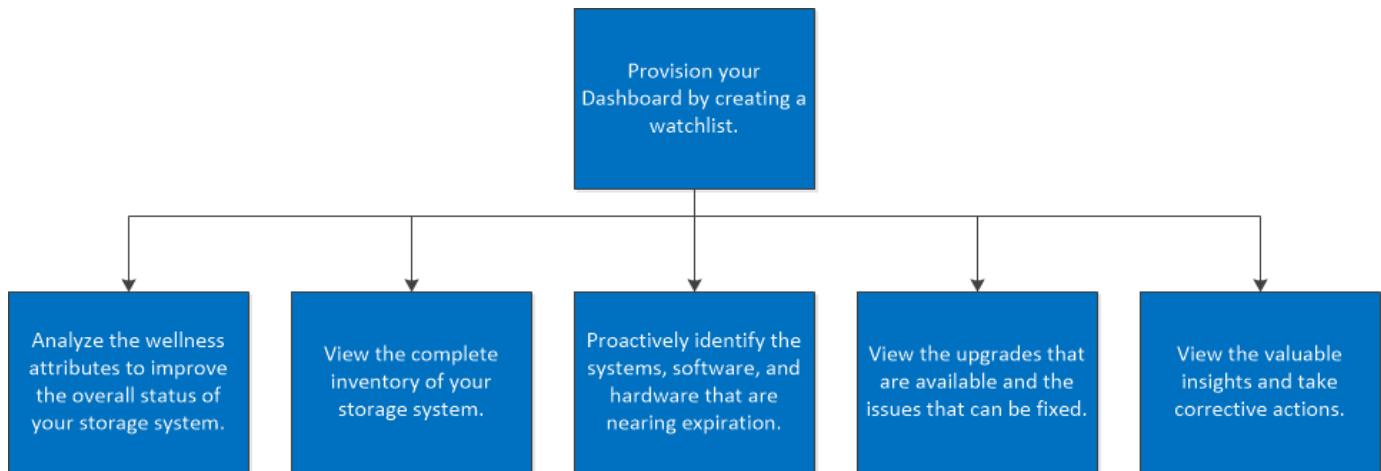
はじめに	1
Digital Advisorのクイックスタート	1
Digital Advisorの機能について学ぶ	2
NetAppコンソールでDigital Advisorにアクセスする	3
NetAppコンソール	3
Digital Advisorの詳細をご覧ください	4
Digital AdvisorのAutoSupportについて学ぶ	6
Digital Advisorにログインします	7
監視リストをプロビジョニング	7
Digital Advisorのウォッチリストについて学ぶ	7
Digital Advisorでウォッチリストを作成する	8
Digital Advisorでウォッチリストを管理する	8

はじめに

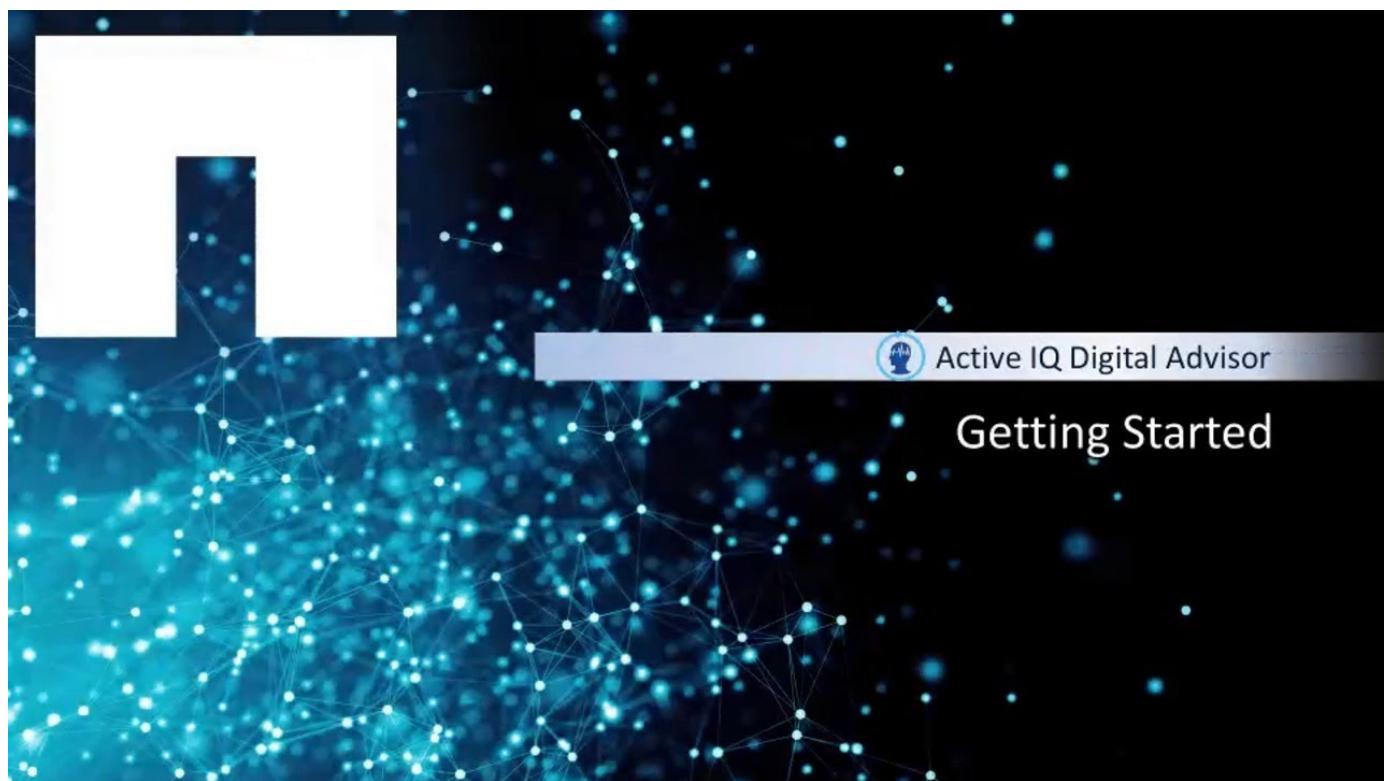
Digital Advisorのクイックスタート

Digital Advisorは、タスクをより効果的に実行できるように強化され、再設計されました。ユーザインターフェイスは、目的の目標を達成するためのガイドとして開発されました。

次の図を見て、Digital Advisorのワークフローを理解してください。



Digital Advisorを使い始めるには、次のビデオをご覧ください。



すべてのDigital Advisorウィジェットは、すべてのプラットフォームでサポートされているわけではありません

ん。Digital Advisorはストレージシステムのプラットフォームを特定し、ストレージシステムで実行可能な一連のタスクのみを表示します。

ストレージシステムでサポートされるウィジェットについては、次の点に注意してください。

* ウィジェット *	* お客様 *	* クラスタ *	* ノード *
健康	すべてのプラットフォームでサポートされます	すべてのプラットフォームでサポートされます	すべてのプラットフォームでサポートされます
契約更新	すべてのプラットフォームでサポートされます	すべてのプラットフォームでサポートされます	すべてのプラットフォームでサポートされます
容量の追加	clustered Data ONTAP でのみサポートされます	clustered Data ONTAP でのみサポートされます	clustered Data ONTAP でのみサポートされます
在庫	すべてのプラットフォームでサポートされます	clustered Data ONTAP でのみサポートされます	clustered Data ONTAP でのみサポートされます
アップグレード	clustered Data ONTAP でのみサポートされます	clustered Data ONTAP でのみサポートされます	clustered Data ONTAP でのみサポートされます

Digital Advisorの機能について学ぶ

Digital Advisorを使用して、ストレージシステムの全体的なステータス、システムの健全性に関する概要、インベントリ、計画、アップグレード、重要な分析情報を監視リストレベルで確認できます。

初めてDigital Advisorにアクセスするときは、ウォッチリストを作成するか、顧客名、サイト名、グループ名、StorageGRID、ホスト名、クラスタ、シリアル番号、またはシステムID。

また、カードに適用される色についても注意する必要があります。色は、リスクの重大度とタイプを示します。

Digital Advisorの機能の一部を以下に示します。

- 複数の監視リストを表示し、実用的で有用な情報を一目で確認できます。
- ストレージシステムのすべてのリスクとリスクを軽減するためのアクションに関する分析情報を取得できます。
- Active IQ Unified Managerを使用してリスクを軽減します。
- ストレージシステムをアップグレードします。
- 持続可能性スコア、電力、直接炭素、熱の予測使用量を表示します。持続可能性スコアに基づいて、ストレージシステムの全体的な効率を評価し、スコアを向上させるためにNetAppの推奨アクションに従います。["詳細はこちら。"](#)。
- ONTAP 9.1以降を実行するストレージシステムのデータ削減率、使用済み論理スペース、使用済み物理スペース、削減された総データ量を表示します。
- パフォーマンスデータをグラフ形式で表示して、ストレージデバイスのパフォーマンスを分析します。
- 6ヶ月以内に有効期限が切れた、または有効期限が近づいているハードウェアおよびソフトウェアに関する情報を入手できます。

- Ansibleを使用してONTAPファームウェアを更新します。
- 容量が90%を超えてるシステムや容量の90%に近づいてるシステムに関する詳細を確認できます。
- 物理/論理構成の詳細情報を表示します。これには、クラスタとノードの構成の概要、ローカル階層とボリュームの情報、ネットワークインターフェイスとポートの情報、ディスクとシェルフに関する詳細なスタック図、ケーブルの可視化などが含まれます。
- トラブルシューティング、アップグレードの評価、解決策の検証、移行に役立つクロススタックの情報と分析情報を提供
- ホストの互換性を確認し、ホストオペレーティングシステム、ドライバ、およびのアップグレードに関する推奨事項を提供します。
- よりスマートで迅速な方法で見つけたいものに正確に到達します。



サポートサービスをシステムダッシュボードの * 構成 * ウィジェットからアップグレードすると、インストールベースに関する情報を取得し、お客様に合わせたサポートを受けることができます。

NetAppコンソールでDigital Advisorにアクセスする

Digital AdvisorはNetApp Console と完全に統合されました。コンソール ユーザー インターフェース (UI) からクラスターを管理し、Digital Advisorのすべての機能にアクセスできるようになりました。

コンソールを使用すると、IT 専門家とクラウド アーキテクトはハイブリッド マルチクラウド インフラストラクチャを集中管理できます。コンソールのDigital Advisorにアクセスするために必要なのは、NetAppサポートサイト (NSS) アカウントだけです。

NetAppコンソール

Digital Advisor はNetAppコンソールからアクセスできます。

NetAppコンソールは、オンプレミスとクラウド環境全体にわたるエンタープライズ グレードのNetAppストレージとデータ サービスの集中管理を提供します。NetAppデータ サービスにアクセスして使用するには、コンソールが必要です。管理インターフェースとして、1つのインターフェースから多数のストレージ リソースを管理できます。コンソール管理者は、企業内のすべてのシステムのストレージとサービスへのアクセスを制御できます。

NetAppコンソールの使用を開始するためにライセンスやサブスクリプションは必要ありません。ストレージ システムまたはNetAppデータ サービスへの接続を確保するためにクラウドにコンソール エージェントを開く必要がある場合にのみ料金が発生します。ただし、コンソールからアクセスできる一部のNetAppデータ サービスは、ライセンスまたはサブスクリプションベースです。

詳細はこちら ["NetAppコンソール"](#)。

コンソールからDigital Advisorにアクセスしてクラスターを管理できます。

手順

- ウェブブラウザを開いて、["コンソール"](#)。
- 「* NetApp Support Site 資格情報でログイン*」を選択し、資格情報を入力します。

以前にメールとパスワードを使用してコンソール ログインを作成したことがある場合は、代わりにそのログイン オプションを引き続き使用する必要があります。

3. プロンプトが表示されたら、NetApp Support Site クレデンシャルを使用してログインします。

このログインは、手順 2 で完了したログインとは異なります。手順 2 では、コンソールにログインしました。これで、 Digital Advisorにログインします。

- 結果 *

既存の監視リストと設定がすべて表示されるので、通常の場合と同様にDigital Advisorを使用できます。

Digital Advisorの詳細をご覧ください

Digital Advisorの使用を開始する際には、 Digital Advisor全体に表示される基本的な用語を理解しておくことが重要です。

- *監視リスト：*すでに選択されているDigital Advisor内のシステムに柔軟にアクセスできます。監視リストを使用すると、 1つ以上のお客様のシステムを追加できます。
 - * ウェルネスダッシュボード： * ウォッチリスト内のシステムの全体的なステータスが表示されます。
 - * ウィジェット： * システムの状態を簡単にまとめたダッシュボードに、小規模なアプリケーションを表示します。
 - * リスク： * 対応する問題があるシステムのリストが表示されます。重大度レベルは次のとおりです。
 - 高リスク
 - 中リスク
 - リスクなし
 - * 一意のリスク： * 特定のリスクカテゴリのリスク名とシステム数が表示されます。
 - * アクション： * 問題を解決するために実行できる一意のアクションの数が表示されます。
 - * 色分けされたリスクステータス *: 重大度レベルに基づいて 3 レベルに分類されるリスクレベルとそのカラーコードを表示します。カラーを使用することで、関連するリスクレベルをより迅速に評価できます。

* 色 *	* 重大度 *
	高
	中
	リスクなし

- * ウェルネスウィジェット： * パフォーマンス、効率、容量、構成設定、セキュリティの脆弱性に関する情報を表示します。その他。容量を超えているか、容量の 90% に近いシステムをプロアクティブに特定します。さらに、ソフトウェアとハードウェアについて、有効期限が切れているか、 6 カ月以内に期限切

れになるように設定されている情報も提供されます。

- *セキュリティとランサムウェア対策：*セキュリティの脆弱性、ランサムウェアの検出、防止、リカバリに関連するリスクと対処方法に関する情報を提供します。
- *パフォーマンスと効率：*ストレージ・システムのパフォーマンスと効率に関する情報が表示されます。
- *可用性と保護：*ストレージ・システムの可用性と保護に関する情報が表示されます
- *容量：*は、影響範囲値の容量属性を持つリスクで構成されます。
- *構成：*影響領域の値の構成属性を持つリスクが、最上位に影響する順にソートされています。
- *持続可能性：*お客様、監視リスト、サイト、グループの各レベルでの持続可能性スコアを改善するために推奨されるアクションの数が表示されます。
- *ウェルネス履歴：過去3ヶ月間に発生したシステムリスクに関する情報を表示します。これにより、それらのリスクがどのように残業しているかを知ることができます。
- *リスクを承認（Ack）：*影響を受けたリスクとシステムを承認できます。これらのリスクを承認し、リスクを軽減するために実行できる操作を把握しておくことができます。
- *リスクの確認応答を取り消し（確認応答を取り消し）：*承認されたリスクとシステムの確認応答を取り消すことができます。
- *修正：*Active IQ United Manager（UM）9.7以降を使用してシステムに対するリスクを修正。このボタンをクリックしてUMを起動し、リスクを軽減する手順を実行します。
- *インベントリウィジェット：*所有している合計システムのロールアップが表示されます。これは、Digital Advisor対応製品と非対応製品の両方が含まれます。
 - *レポートを生成：*選択したウォッチリストのレポートを生成し、最大5名の受信者にレポートを電子メールで送信します。
- *計画ウィジェット：*更新が必要な容量追加、ソフトウェア、ハードウェアに関する情報が表示されます。
 - *容量の追加：容量の上限を超えており、または90%に近づいているシステムや、容量を超えており、または70%に近づいているグリッドサイトを特定します。ストレージシステムの容量を拡張する要求を発行できます。
 - *Renewals：*は、6ヶ月以内に期限切れになったソフトウェアやハードウェアに関する情報を提供します。
- *アップグレードウィジェット：ONTAPおよびEシリーズシステムで利用可能なアップグレード数を表示します。
 - ONTAPシステムについては、アップグレードが必要なシステム数に関する情報を表示して、アップグレードプランを申請できます。
 - Eシリーズシステムについては、アップグレードが必要なシステムの数に関する情報のみを表示できます。
- *Storage Efficiency：AFFシステム、AFF以外のシステム、またはその両方について、Snapshotコピーの有無にかかわらず、ストレージ効率とストレージシステムの削減率を表示します。
- *パフォーマンスグラフ：*パフォーマンスデータのグラフ形式を表示して、ストレージデバイスのパフォーマンスを分析できます。選択したノードのONTAPクラスタの詳細なパフォーマンスグラフを表示できます。
- *価値ある分析ウィジェット：サポートケースの数、保留中のソフトウェアアップグレード、Storage Efficiencyによる削減量、軽減されたリスクなどに関する情報を表示します。また、ウェルネス属性からのリスク通知も積極的にリストされます。

- * AutoSupport : * AutoSupport インスタンスの概要または詳細を表示できます。詳細には、システムの詳細、問題の考えられる原因、推奨される対処方法などが含まれます。

AutoSupport 機能にアクセスするには、Digital Advisorにログインしてクラスタまたはホスト名を検索します。AutoSupport オプションは左側のペインで使用できます。

- クイックリンク : Digital Advisorを使用して起動できるアプリケーションのリストが表示されます。
 - * Cluster Viewer : * を使用すると、物理構成と論理構成の詳細情報を確認できます。これらの詳細情報は、クラスタとノードの構成の概要、ローカル階層とボリュームの情報、ネットワークインターフェイスとポートの情報、ディスクとシェルフに関する情報を示すスタック図、およびケーブルの可視化など、複数のタブにまたがるいくつかのわかりやすい表に記載されています。SVG 形式のケーブル視覚エフェクトグラフィックをダウンロードすることもできます。

Cluster Viewer 機能は、E シリーズシステムではサポートされません。

- * API サービス : * 関心のあるデータを抽出し、会社のワークフローに直接統合できます。
- * AutoSupport アップロード : ONTAP および E シリーズシステムの不具合や問題を分析できます。問題のレビューと修正は、サポートサイトの担当者が手動で行います。
- * システム・ファームウェア : ONTAP の各メジャー・バージョンおよびパッチ・バージョンとともに出荷されたシステム・ファームウェアに関する情報を表示できます。
 - * 検索 : * 顧客名、シリアル番号、クラスタ、サイト名、グループ名、ホスト名など、さまざまなカテゴリに基づいてシステムを検索できます。
- * お客様 : * お客様のインストールベースを表示および管理できます。カスタマーダッシュボードは、Digital Advisorの中央ポータルです。
- * クラスタ : * ONTAP クラスタに関する情報を提供します。ダッシュボードには、健常性、容量、Storage Efficiency、パフォーマンスに関する分析情報も統合されています。
- * シリアル番号 : * お客様に割り当てられているシリアル番号に関する情報を提供します。

Digital AdvisorのAutoSupportについて学ぶ

AutoSupport は、システムの健常性をプロアクティブに監視し、設定、ステータス、パフォーマンス、およびシステムイベントのデータをネットアップに自動的に送信する計測メカニズムです。

このデータは、ネットアップテクニカルサポートが問題の診断と解決を高速化するために使用し、Digital Advisorが潜在的な問題をプロアクティブに検出して回避するために使用します。また、社内のサポート部門やサポートパートナーにも送信できます。



Digital Advisorは、AutoSupport データが60日以内のシステムについてのみAutoSupport 関連データを表示します。

ONTAP システムでは、ストレージシステムの初回設定時に、AutoSupport がデフォルトで有効になります。お勧めします "AutoSupport をセットアップする" ONTAP システムで、テクニカルサポートおよび社内のサポート部門に AutoSupport 情報を送信する方法を制御します。

AutoSupport を有効にしたくない場合は、AutoSupport のアップロード機能を使用して AutoSupport データを手動でアップロードし、ストレージエコシステムに関する推奨事項や分析情報を入手できます。



AutoSupport データにユーザデータが含まれることはありません。

AutoSupport の詳細については、該当するドキュメントを参照してください。

- "ONTAP (FAS および AFF) "
- "StorageGRID"
- "SANtricity (E シリーズおよび EF シリーズ) "
- "要素 (NetApp HCI および SolidFire) "
- "テクニカルレポート - ONTAP AutoSupport and AutoSupport On Demand をご覧ください"
- "テクニカルレポート - ネットアップ計測データのセキュリティとプライバシー"

Digital Advisorにログインします

WebベースのコンソールからDigital Advisorにログインして、ストレージシステムの全体的なステータスを確認できます。

作業を開始する前に

Digital Advisorにログインするには、有効なNetApp Support Site クレデンシャルが必要です。アカウントをお持ちでない場合は、次の技術情報アーティクルを参照してアカウントを作成してください。

["お客様またはゲストユーザーとしてNetApp Support Siteアカウントに登録する方法"。](#)

手順

1. にアクセスします ["Digital Advisor" ログインページ。](#)

Digital Advisorは、有効なサポート契約を締結しているシステムを表示します。契約が期限切れになると、90 日間の猶予期間が与えられ、システムは引き続き表示されます。その後、Digital Advisorでシステムを検索したり表示したりすることはできません。

2. ユーザー名とパスワードを入力し、 * サインイン * をクリックします。

監視リストをプロビジョニング

Digital Advisorのウォッチリストについて学ぶ

監視リストは、Digital Advisor内で事前に選択されたシステムにすばやく簡単にアクセスするために使用されます。特定の顧客または一連のシステムを頻繁に表示する場合は、監視リストを作成することをお勧めします。監視リストは最大100個まで作成でき、各監視リストにカテゴリで追加する場合は最大15,000、シリアル番号で追加する場合は最大500のシステムを含めることができます。

Digital Advisorに初めてアクセスしたときは、監視リストを作成するか、お客様名、サイト名、グループ名、StorageGRID、ホスト名、クラスタ、シリアル番号、システムID、Keystoneサブスクリプション。

また、カードに適用される色についても注意する必要があります。色は、リスクの重大度とタイプを示します。

Digital Advisorでウォッチリストを作成する

ウォッチリストを作成すると、一連のストレージシステムにすばやく簡単にアクセスできます。カテゴリまたはシリアル番号に基づいてストレージシステムを追加できます。



カテゴリごとに最大 15,000 個のストレージシステム、シリアル番号ごとに最大 500 個のストレージシステムを追加できます。

手順

- 左側のペインで、「* Watchlists *」をクリックします

[監視リストを管理] 画面が表示されます。

- 監視リストを作成 * をクリックします。
- 監視リストの名前を指定します。
- ストレージシステムを監視リストに追加するには、次のいずれかのオプションを選択します。
 - カテゴリ：お客様、サイト、グループ、Keystoneサブスクリプションなど、特定のカテゴリに関連付けられたインベントリ全体を追加できます。を監視リストに追加します。



Keystoneサブスクリプション*オプションを使用すると、Keystoneサブスクリプションに関連付けられているサブスクリプション番号を含めることができます。監視リストで検索すると、Digital Advisorダッシュボードの* Keystone Subscriptions * ウィジェットでサブスクリプションを確認できます。詳細については、を参照してください "["Keystone 監視リストで検索"](#)"。

- シリアル番号：このオプションを使用すると、指定したシリアル番号に基づいて監視リストにインベントリを含めることができます。シリアル番号を直接入力するか、お客様、サイト、グループなどのカテゴリからシリアル番号を選択できます。

- 監視リストを作成 * をクリックします。

監視リストダッシュボードが表示されます。

Digital Advisorでウォッチリストを管理する

別の監視リストのダッシュボードを表示したり、既存の監視リストの詳細を編集したり、監視リストを削除したりできます。

手順

- 左側のペインで、「* Watchlists *」をクリックします。

[監視リストを管理] 画面が表示されます。

- 監視リストの名前をクリックすると、監視リストのダッシュボードの詳細が表示されます。
- 「* 編集 *」をクリックして、監視リストの詳細を更新します。
- [削除 *] をクリックして、ウォッチリストを削除します。

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を隨時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5225.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。